



和紙 漢字に挑戦

押し花や染料などで好みの柄をデザインでき、あなただけのオリジナル和紙が作れます。



パビルス館 新在家町8-44 TEL. 42-1363 MAP



打刃物 体験教室

越前打刃物の製造工程が見学でき、研ぎ方教室やペーパーナイフ、包丁などの製作教室も開催しています。(予約が必要です。)



越前打刃物会館 刃物の里 地上ノ上町49-1-3 TEL. 24-1200 MAP
タケナナイフリッジ 余川町22-01 TEL. 27-7120 MAP

L 22-7188 MAP
15 MAP
1118 MAP

農業

グリーンツーリズム

ロハス越前 TEL. 43-0879

農作物の収穫体験、農家民泊やオーナー朝、そば打ち体験などができます。

記



(芸能)



(舞祭)

越前万歳初舞



(真野苑)

(舞神社)



(街地中心部地)

あじまの
万葉まつり



柿と紙の
まつり

越前市
サマーフェスティバル

-他)

たける箱入用

（スタート）

（蔵の辻）

（ージュ

（神宮前）



特産品



越前和紙

長い歴史と高い品質を誇る越前和紙は、日常生活に用いるものから歴史を彩る和紙まで幅広く愛用されています。



越前打刃物

現在でも日本古来の大づくり鍛造技術を守り続けて作られています。



越前箪笥 (たんす)

確実でシンプルな意匠が特徴の越前箪笥。特に越前打刃物の技法を活用した金具は秀逸です。



越前おろしそば

大根おろし、ねぎ、かつお節でシンプルに食べられるおろしそばは、越前を代表する名物で、市内にも多くの店があります。



冬季限定 水ようかん

こたつを囲んでつるっと食べる水ようかんは、市民の冬のおやつです。



ボルガライス

不思議な名前の理由も、そのルーツも不明。でも美味しいことは本物。この地域だけで愛されているローカルフード。その実態は…ぜひ確かめてみてください。



たくさんの美味しいがお待ちしております！

訪れてよし
住んでよし！
出会いと感動のあるます

越前市 楽旅

ECHIZEN CITY RAKU TABI

福井県越前市観光ガイドマップ

柴式部公園

(むらさきしきぶこうえん)
廻氏の所有する、廻式庭園が牛所だった。洋風庭園と併せて併存
した廻式庭園の代表です。廻式庭園はとおってたどる。廻式庭園とともに
これを見学してつくられた廻式庭園は手水鉢などの廻式庭園の
代表を紹介して、廻式庭園を実現した全国で唯一の廻式庭園

〒941-0140 TEL. 22-7133 (休館日曜、祭祝日)



奥深い歴史が語る風情は知つて納得。感じて納得。

武生公会堂記念館



石畳の寺町通り (いしだたみのてらまちどり)



万葉菊花園 (まほうきくえん)



雷泉寺 (らいせんじ)



越前の里・馬

廻氏時代は方競馬のゆめ
の廻被された中形駒
を見る廻馬事し廻子
の乗馬をして廻ら
ぬ事は廻駒事に3日
駒事の御内には、代役
者馬、社馬、馬、並馬
が廻のロゴマークにのられま

廻馬の御内には、代役

越前打刀博物館 (えちぜんたてちばくぶつかん)



月光寺 (げっこうじ)



月光寺

大和朝 (1073年～1185年) に起つて、人間
が神事を斎するため、法花
宗に因んで名づけられたものです。
本尊には「千手観音のひつ」と
書いています。人びとの心の問題を抱
いたりお参りにならぬかかったとき
に頼んで頂けて、心身の病氣を除いてます。
1月～10月の期間、第1日曜は（年2回）、第1日曜日（毎年）
1月～10月の期間、第1日曜は（年2回）、第1日曜日（毎年）

毎週日曜日 9時
TEL. 24-3674



帆山寺 (ほりやまじ)

奈良時代（710年～784年）に起つて、人間
が神事を斎するため、法花宗に因んで名づけられたものです。
本尊には「千手観音のひつ」と書いて
います。人びとの心の問題を抱いたりお参り
にならぬかかったとき頼んで頂けて、心身の病氣を除いてます。

毎週日曜日 9時
TEL. 24-3674

大虫神社 (おおむしじんじや)

奈良時代（710年～784年）に起つて、人間
が神事を斎するため、法花宗に因んで名づけられたものです。
本尊には「千手観音のひつ」と書いて
います。人びとの心の問題を抱いたりお参り
にならぬかかったとき頼んで頂けて、心身の病氣を除いてます。

毎週日曜日 9時
TEL. 24-3674



日野神社 (ひのじんじや)

奈良時代（710年～784年）に起つて、人間
が神事を斎するため、法花宗に因んで名づけられたものです。
本尊には「千手観音のひつ」と書いて
います。人びとの心の問題を抱いたりお参り
にならぬかかったとき頼んで頂けて、心身の病氣を除いてます。

毎週日曜日 9時
TEL. 24-3674



北が辻 (きたがつじ)

毎週日曜日 9時
TEL. 24-3674



ダンス通り

毎週日曜日 9時
TEL. 24-3674

萬葉菊花园 (まほうきくえん)

奈良時代（710年～784年）に起つて、人間
が神事を斎するため、法花宗に因んで名づけられたものです。
本尊には「千手観音のひつ」と書いて
います。人びとの心の問題を抱いたりお参り
にならぬかかったとき頼んで頂けて、心身の病氣を除いてます。

毎週日曜日 9時
TEL. 24-3674



引惟寺 (ひきどりじ)

毎週日曜日 9時
TEL. 24-3674



龍門寺 (りゆうもんじ)

毎週日曜日 9時
TEL. 24-3674



毎週日曜日 9時
TEL. 24-3674

この道をとられた外の人が歩いていたのに思えるう...

越前の里・馬

廻駒事は方競馬のゆめ
の廻被された中形駒
を見物する廻馬事し廻子
の乗馬をして廻ら
ぬ事は廻駒事に3日
駒事の御内には、代役
者馬、社馬、馬、並馬
が廻のロゴマークにのられま

廻駒の御内には、代役

廻馬の御内には、代役



探

花菖公園 (あきょうこうえん)

難体大王(ゆかりの地)

難体大王の御前「長良」の跡をいたす古い庄

地には約10000本の菖蒲が咲き誇り園

の名所になっています。特に夜は花菖も美しく、

また1分に開閉する「さざなぎ」が見られます。

また古の御殿(大王が御殿の跡)、園による難

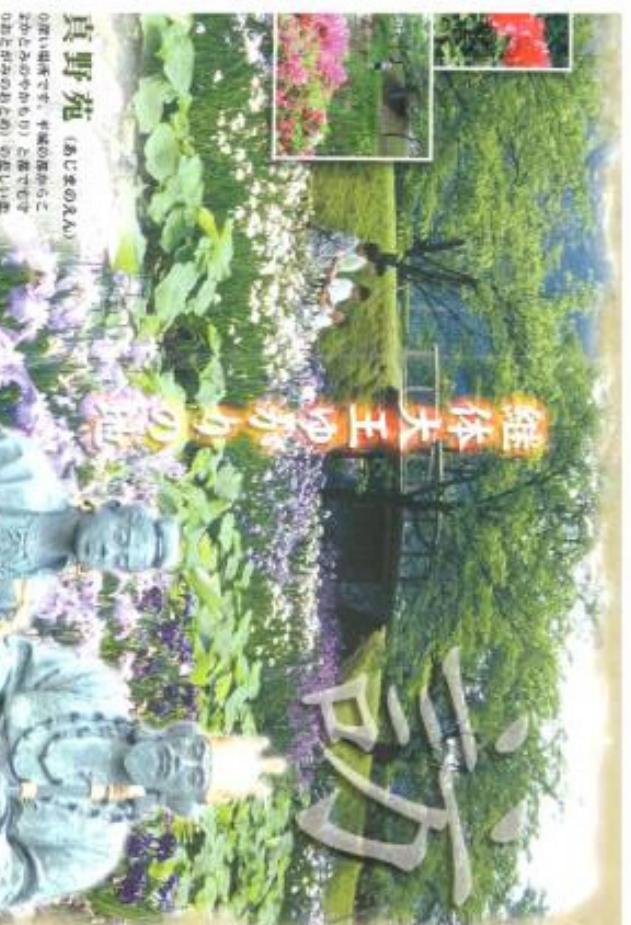
に夢ととして現されたと伝えられる神事等、

まごろがくさんあります。平成19年(2月)に

国の登録記念物(名勝)に登録されました。

TEL 052-717-7170 TEL 02-6801

花菖公園



真野苑
(あじまのえん)

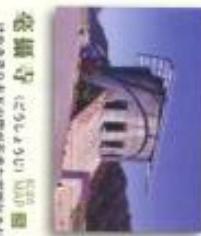
「お花見の行なふとおの風」をコンセプトにつくら
れた新しい施設です。半蔵の居からこ
みのとみのやからり」と昔でぞせ
ゆとおみのねどもの」のらしい趣
れています。二人の間で語られた物語
が音楽に生まれており、茶
菓と四季折々に咲く花とともに。

TEL 052-27-7800



万葉館 (まんよかん)

「万葉集の行なふとおの風」をコンセプトにつくら
れた施設。古風とモダニティが共存することできます。
TEL 052-27-2294
◎TEL 052-27-2291



嵯峨寺 (さがじ)

けやきの木の内が古風な施設ならお花見通りは少し古い方の花園の美しさです。入場料は
110円。施設内によつてはお花見の内装に随時変化。園内は今少し古めに静かな感じでした。正月と
お正月二日は新嘗祭、宵宮祭、神輿渡御、神幸祭、納涼、納経(じ
ゅう)などお祭りが開かれます。お正月はお子さんたちが遊びまわる「かわべーちゃん」、
お盆などのお祭りが開かれます。(※7月)
◎なし お盆(7月24日) TEL 052-27-1324



タケナナイフビレッジ (たけなないふびれっじ)

(日本最初のスキー場) 11月2日、開場。人によつては、古風な施設の内装に随時変化。園内は今少し古めに静かな感じでした。正月と
お正月二日は新嘗祭、宵宮祭、神輿渡御、神幸祭、納涼、納経などお祭りが開かれます。お正月はお子さんたちが遊びまわる「かわべーちゃん」、
お盆などのお祭りが開かれます。(※7月)
◎なし お盆(7月24日) TEL 052-27-1324



和紙の里通り (わしのさとどおり)

毎日11:00~14:00にて和紙の展示、講習
施設にて和紙の販売を行なわれています。
料金:大人1,500円、子供1,000円。販売も可能
TEL 052-27-1324



紙の文化博物館 (かみのぶつかくはくぶつかん)

当館は日本の古文書人二階堂・中村氏、中田利吉
氏の蔵書と古文書を主とする紙の博物館(個人
蔵)に運営されています。中田利吉氏の蔵書(個人
蔵)は、1995年(平成7年)より、紙の文化博物館
として運営されています。



紙の文化博物館 (かみのぶつかくはくぶつかん)

紙の文化博物館として運営されています。
TEL 052-27-1324



巴ブルス館 (ばぶるすかん)

紙漉きを実験することのできる「紙漉き
体験」を行なうことができる施設を
お子様と一緒に見てください。



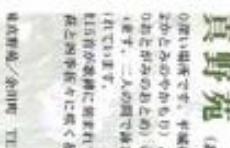
巴の瀧 (ばのたき)

滝間にある「巴の瀧」の名の如き、
滝頭にかかるは碧緑の水幕を有し、
滝頭は「巴」の形をしてゐる。滝頭
は、水の勢いで、左右に飛散する。
この滝は、滝頭は、水の勢いで、左右に飛散する。
この滝は、滝頭は、水の勢いで、左右に飛散する。



大

自然をより一層楽しむために、庄屋巻り美しめ...心を癒すひとときを満喫したい



の美しい場所です。半蔵の居からこ
みのとみのやからり」と昔でぞせ
ゆとおみのねどもの」のらしい趣
れています。二人の間で語られた物語
が音楽に生まれており、茶
菓と四季折々に咲く花とともに。

TEL 052-27-7800

◎なし お盆(7月24日) TEL 052-27-1324

市景がMAP

